

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 30 日 (2020.7.30)

【公開番号】特開 2020-79808 (P2020-79808A)

【公開日】令和 2 年 5 月 28 日 (2020.5.28)

【年通号数】公開・登録公報 2020-021

【出願番号】特願 2020-34597 (P2020-34597)

【国際特許分類】

G 0 1 F 1/684 (2006.01)

【F I】

G 0 1 F 1/684 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 4 日 (2020.6.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

上記目的を達成するために、本発明の熱式空気流量計は、例えば、被計測流体の一部を取り込む副通路と、前記副通路に配置され前記被計測流体の流量を計測するセンサチップと、前記センサチップにより検出した流体流量を電気信号に変換し内部に抵抗体を有する電子部品と、前記センサチップ及び前記電子部品を搭載する基板と、を有し、前記基板は、固定領域にて筐体に固定され、前記筐体に囲まれた前記電子部品が搭載された側の面が充填材により覆われ、前記基板と前記充填材のヤング率及び線膨張係数が、前記基板と前記充填材のヤング率の比と線膨張係数の比とで決まり、前記基板と前記充填材のヤング率の比を Y 、前記基板と前記充填材の線膨張係数の比を X とすると、 $Y < 0.4X^{-0.9}$ なる関係がある。また、例えば、被計測流体の一部を取り込む副通路と、前記副通路に配置され前記被計測流体の流量を計測するセンサチップと、前記センサチップにより検出した流体流量を電気信号に変換し内部に抵抗体を有する電子部品と、前記センサチップ及び前記電子部品を搭載する基板と、を有し、前記基板は、固定領域にて筐体との一体成型により固定され、前記筐体に囲まれた前記電子部品が搭載された側の面が充填材により覆われ、前記基板と前記充填材のヤング率及び線膨張係数が、前記基板と前記充填材のヤング率の比と線膨張係数の比とで決まり、前記基板と前記充填材のヤング率の比を Y 、前記基板と前記充填材の線膨張係数の比を X とすると、 $Y < 0.4X^{-0.9}$ なる関係がある。